

サワイグループホールディングス株式会社

社会とともに持続的に発展する ヘルスケア企業グループを目指して

東京証券取引所市場 第一部
証券コード:4887

sawai

沢井製薬を中核とする持株会社
ジェネリック医薬品事業を中心に、社会とともに持続的に発展するヘルスケア企業グループを目指し
2021年4月に持株会社体制に移行

会社名	サワイグループホールディングス(株)
創業	1929年4月
設立	2021年4月
資本金	100億円
本社	大阪市淀川区
上場市場	東京証券取引所市場 第一部 (証券コード:4887)
代表者	代表取締役社長 末吉 一彦
事業内容	グループの経営管理および 関連する業務を担う持株会社
従業員数	3,003名 (連結、2021年3月末)
業績	売上収益 1,872億円、コア営業利益 340億円、営業利益189億円 (連結、2021年3月期)



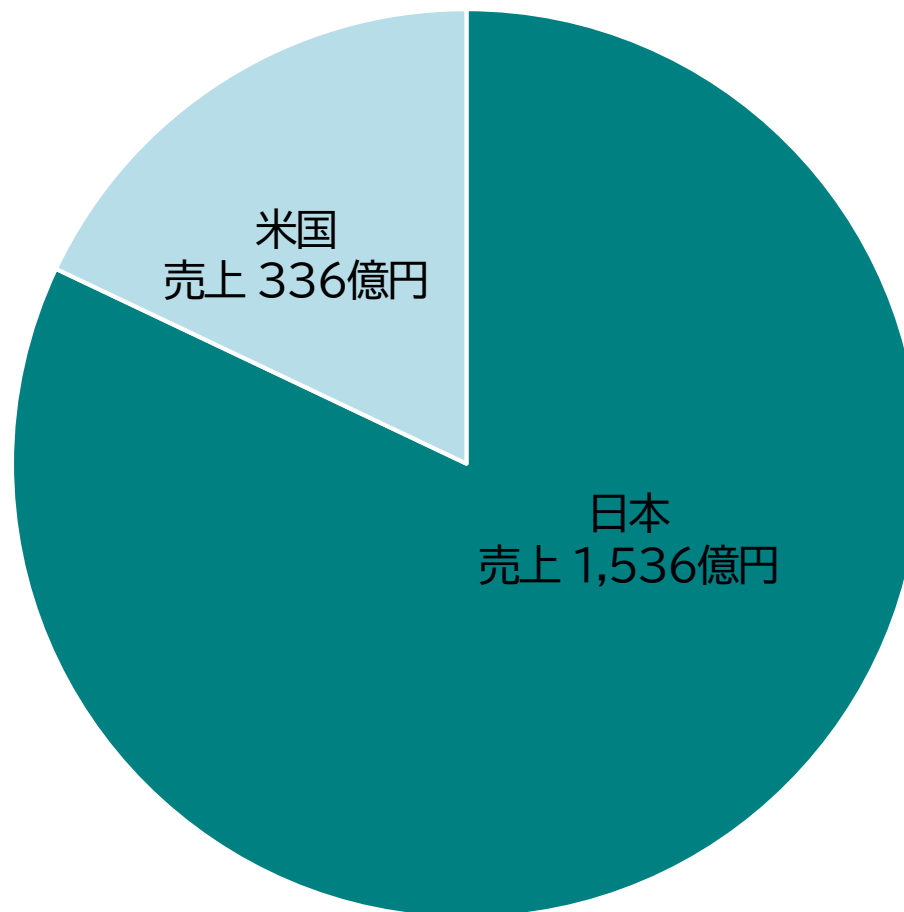
国内、米国それぞれにおいてジェネリック医薬品事業を展開
(日本事業: 沢井製薬・メディサ新薬・化研生薬、米国事業: Upsher-smith)

沢井製薬

- 1948年設立の医療用医薬品メーカー
- 高品質・高付加価値のジェネリック医薬品の製造・販売を通じて、少子高齢化や医療の高度化に伴う医療費の増大という社会的課題の解決に貢献

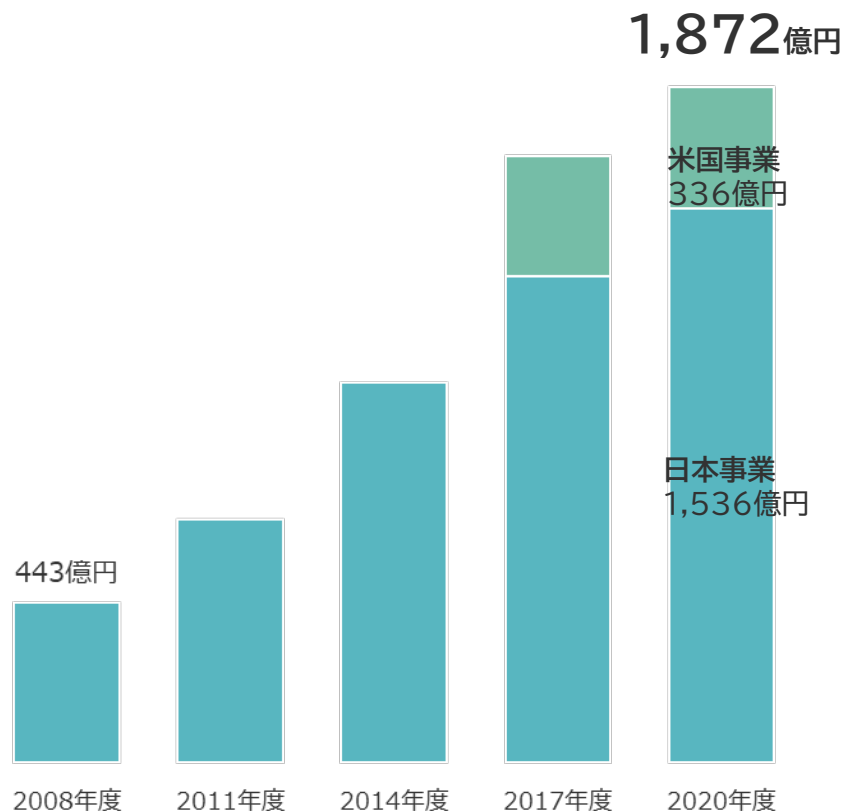
Upsher-smith

- 1919年に設立、創業100年の歴史を持つ米国本社のジェネリック製薬企業
- 市場シェア上位の製品や製造難度の高い徐放性製剤を有し、独自のポジションを構築



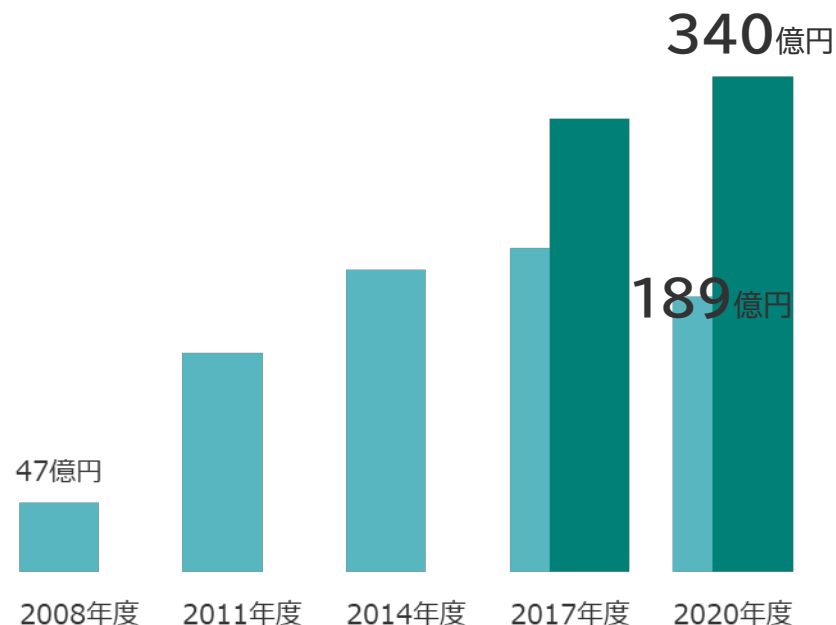
- ジェネリック医薬品の需要拡大を見据えて実施した先行投資が奏功し、着実な成長を実現
- 2017年5月Upsher-smithを買収、米国市場に本格進出

売上収益



営業利益・コア営業利益※1

■ 営業利益 ■ コア営業利益



※1 コア営業利益は、営業利益から償却費・減損損失などの非経常的な要因等による損益を除いて算出

※2 2018/3期以降 IFRS基準

ジェネリック医薬品 サワイの存在意義

ジェネリック医薬品事業を軸に、製薬企業、製造業としてさまざまな取り組みを実行

製薬企業としての貢献



ジェネリック
医薬品の
安定供給



持続可能な
医療保険制度への
貢献



製品付加価値の追求



病気の啓発
シンポジウムやセミナーへの協賛、
医療番組への提供等



製造業としての責任



CO₂、廃棄物等削減の
取り組み



包装資材への再生紙利用



「すべての人に健康と福祉を」への貢献

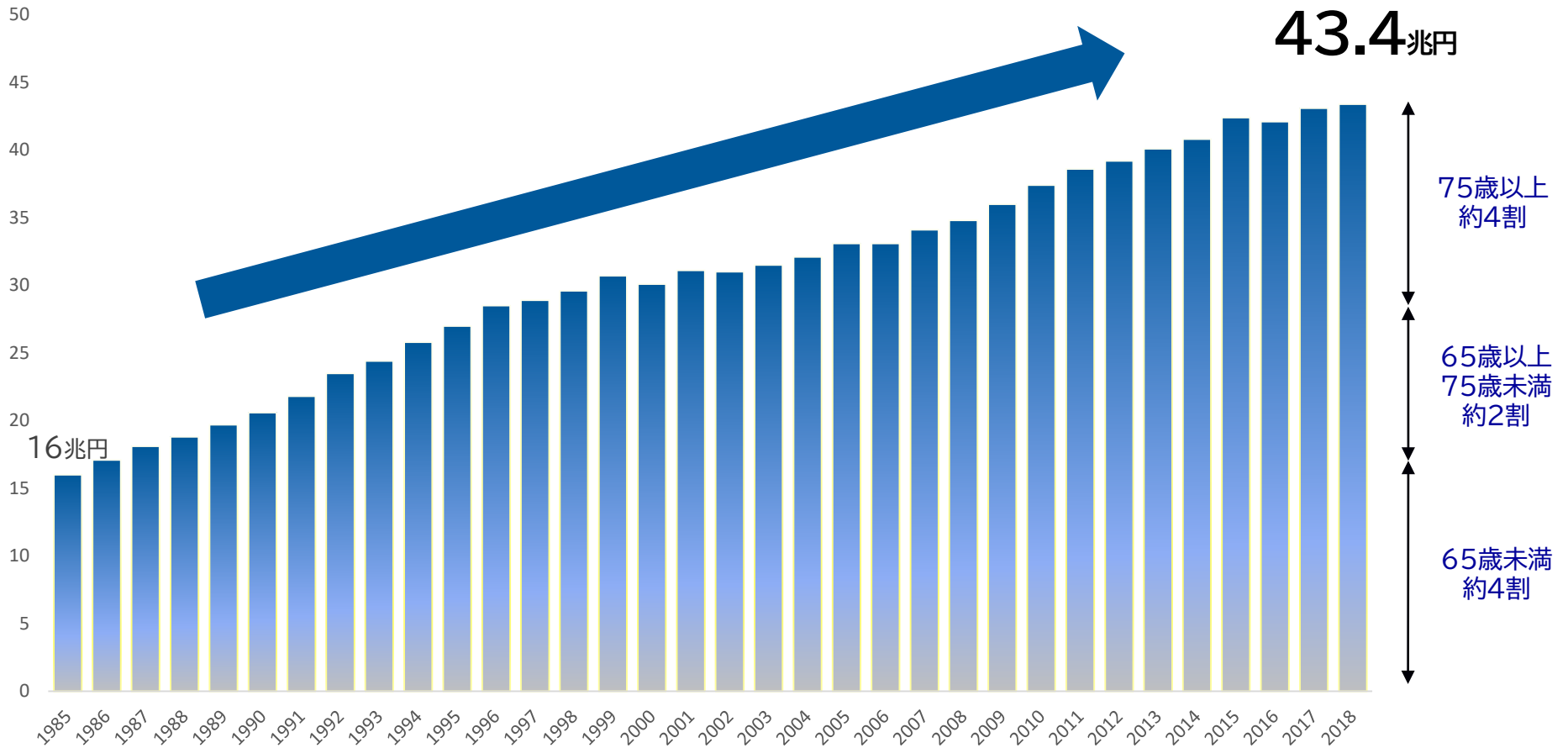


目標3:すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

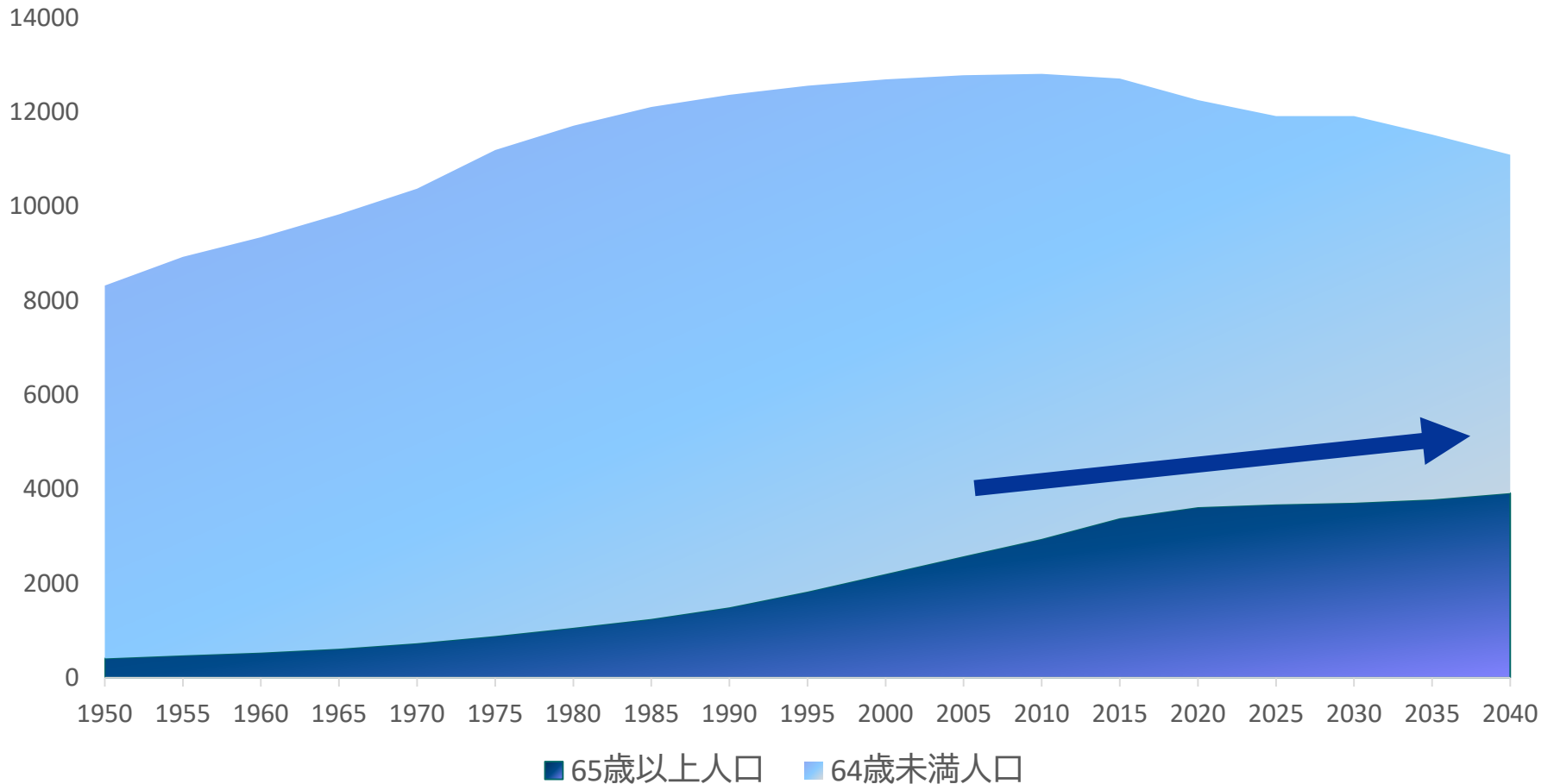
- ・目標3を重点目標とし、ジェネリック医薬品事業を通じて達成に貢献
- ・今後、ジェネリック医薬品以外の新たな事業やアメリカでの事業拡大により、国内外に貢献範囲を広げていく

高齢化に伴い医療費は年々増加
医療費のうち薬剤費は約10兆円

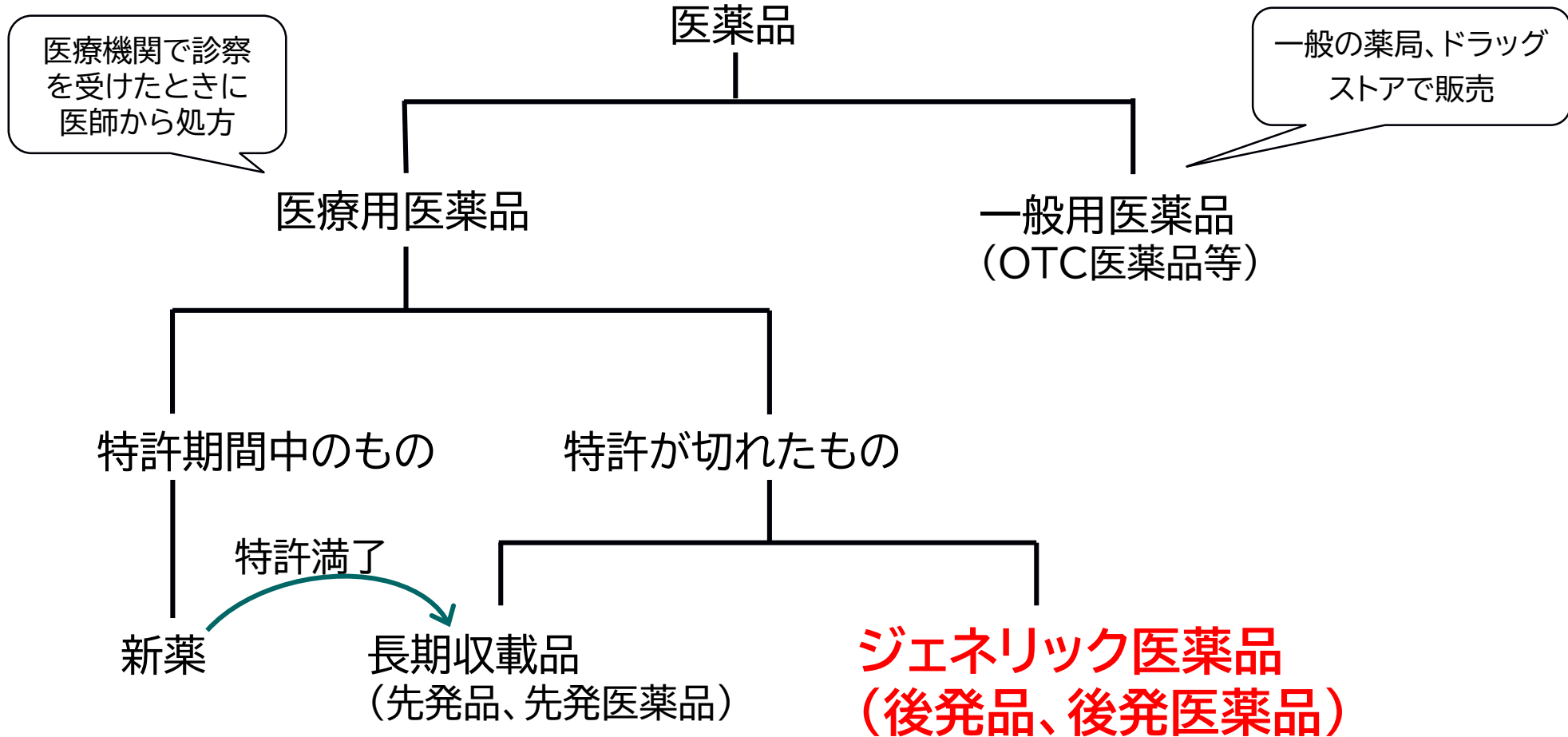
国民医療費の推移



日本の総人口は減少するが65歳以上人口は今後も増加 国内の人口推移



出典：総務省「統計からみた我が国の高齢者(65歳以上)」をもとに沢井製薬作成



新薬と同等の効き目で価格が安いお薬です

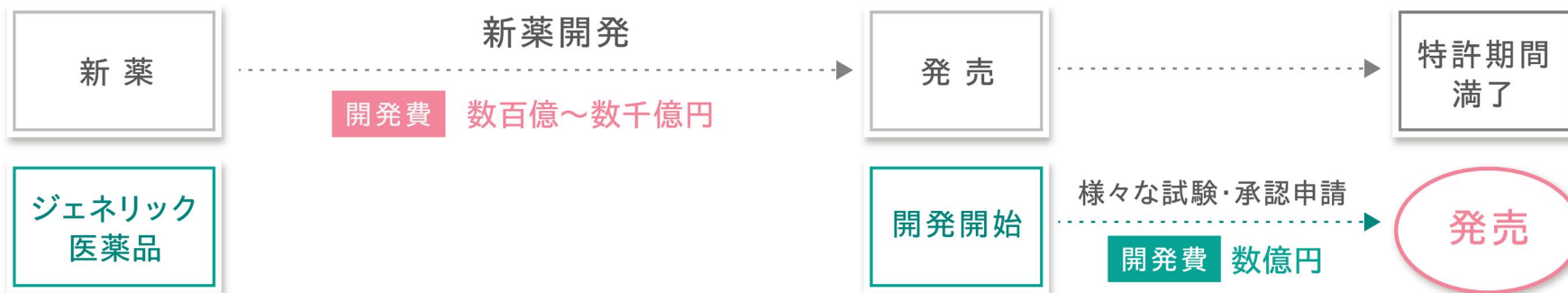
ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分を同じ量使用してつくられており、効き目や安全性が新薬と同等であると確認されています。



ジェネリック医薬品の特徴

有効成分	有効成分の量	効き目	安全性	お薬代	形状・色・味
新薬と 同一	新薬と 同一	新薬と 同等	新薬と 同等	新薬より 安い	飲みやすく 工夫された製品 もあります

また、新薬と比べて開発にかかる費用が少ないため、お薬代が安くなります。

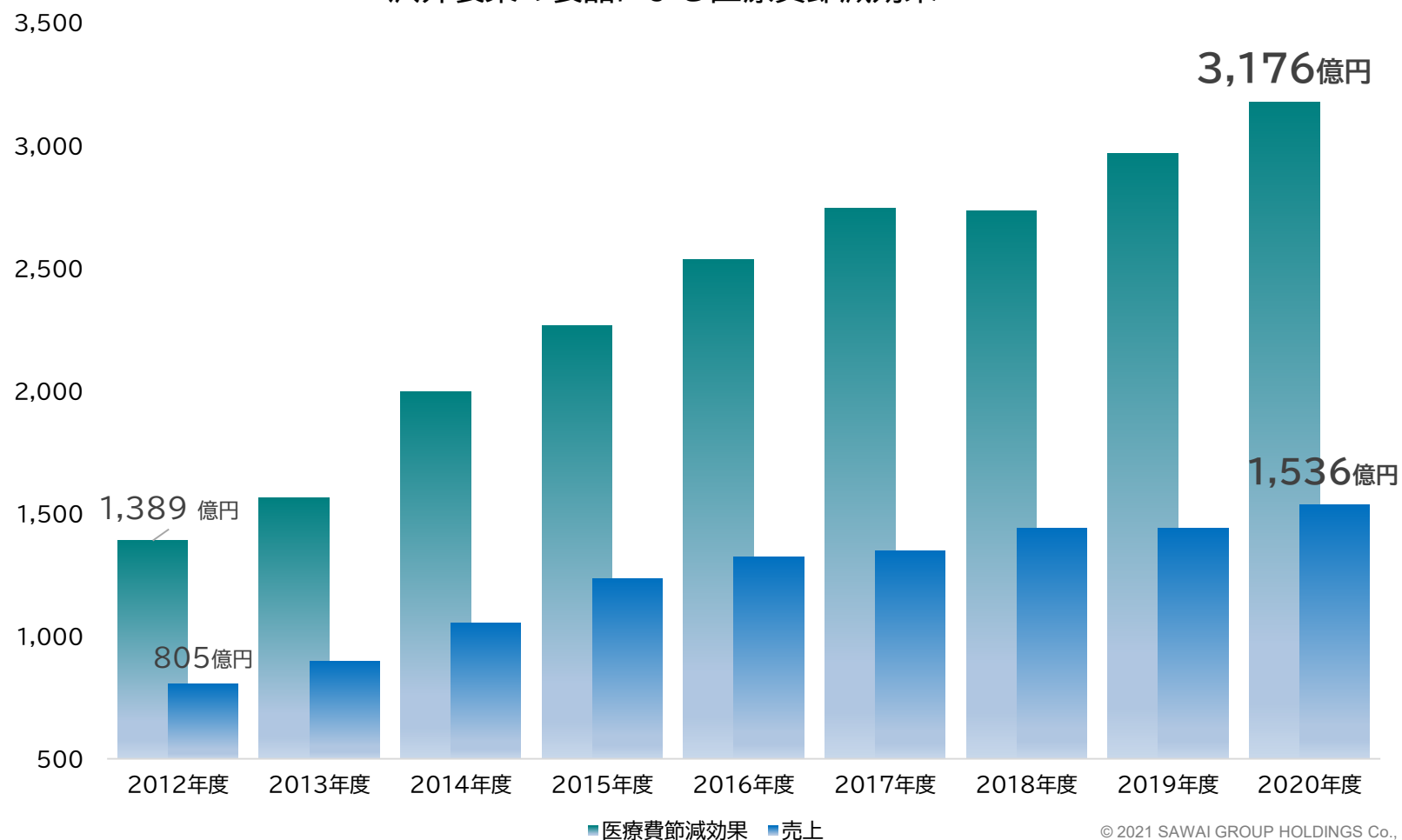


※欧米では一般名 (generic name) で処方されることからジェネリック医薬品とされている。

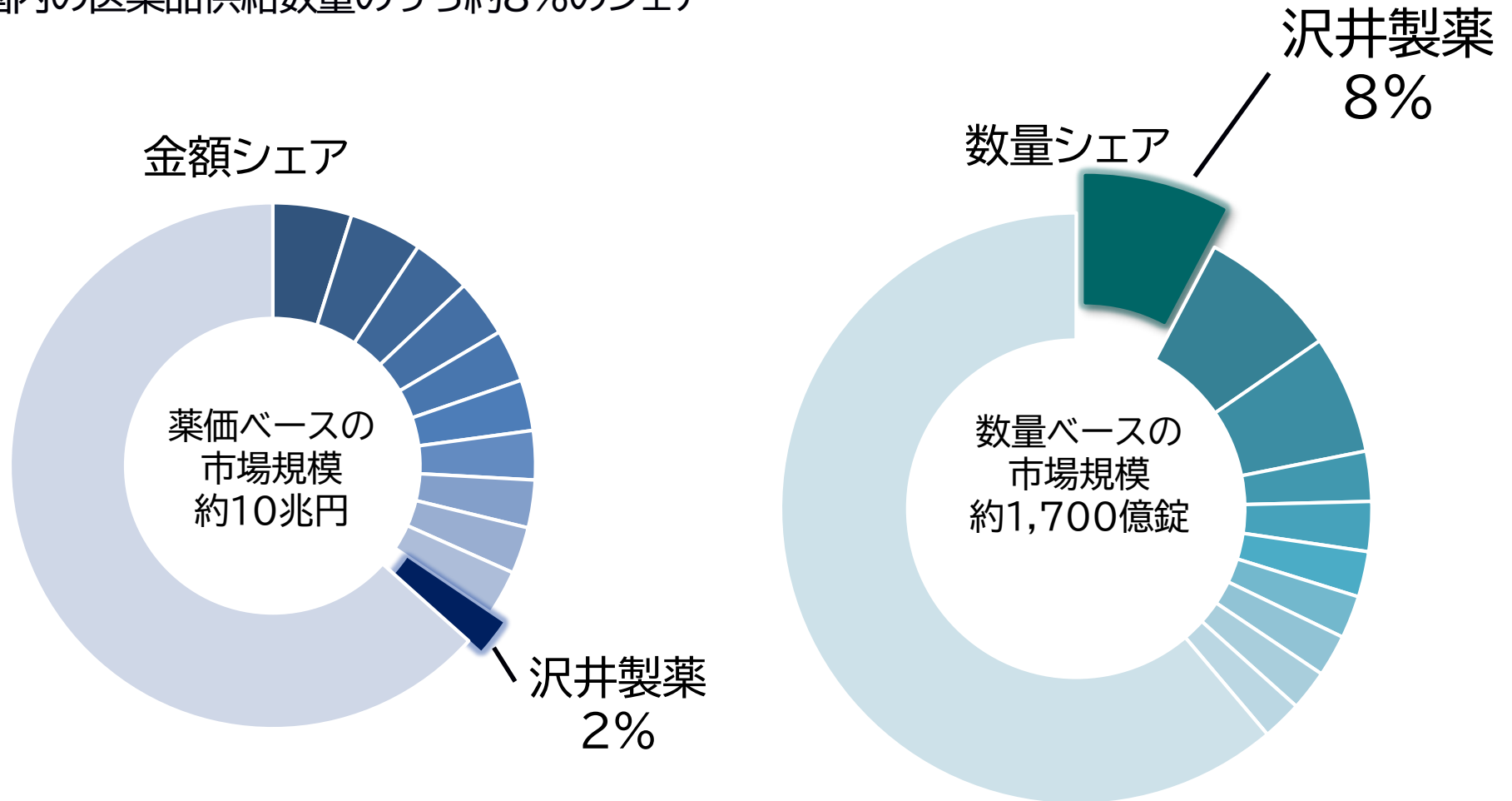
沢井製薬が取り組んできた事業を通じた 社会課題への取り組み

サワイのビジネスモデル：
患者さんの健やかな暮らしの実現と医療費節減による持続可能な社会への貢献
社会課題解決への取り組みを通じて成長を実現

沢井製薬の製品による医療費節減効果

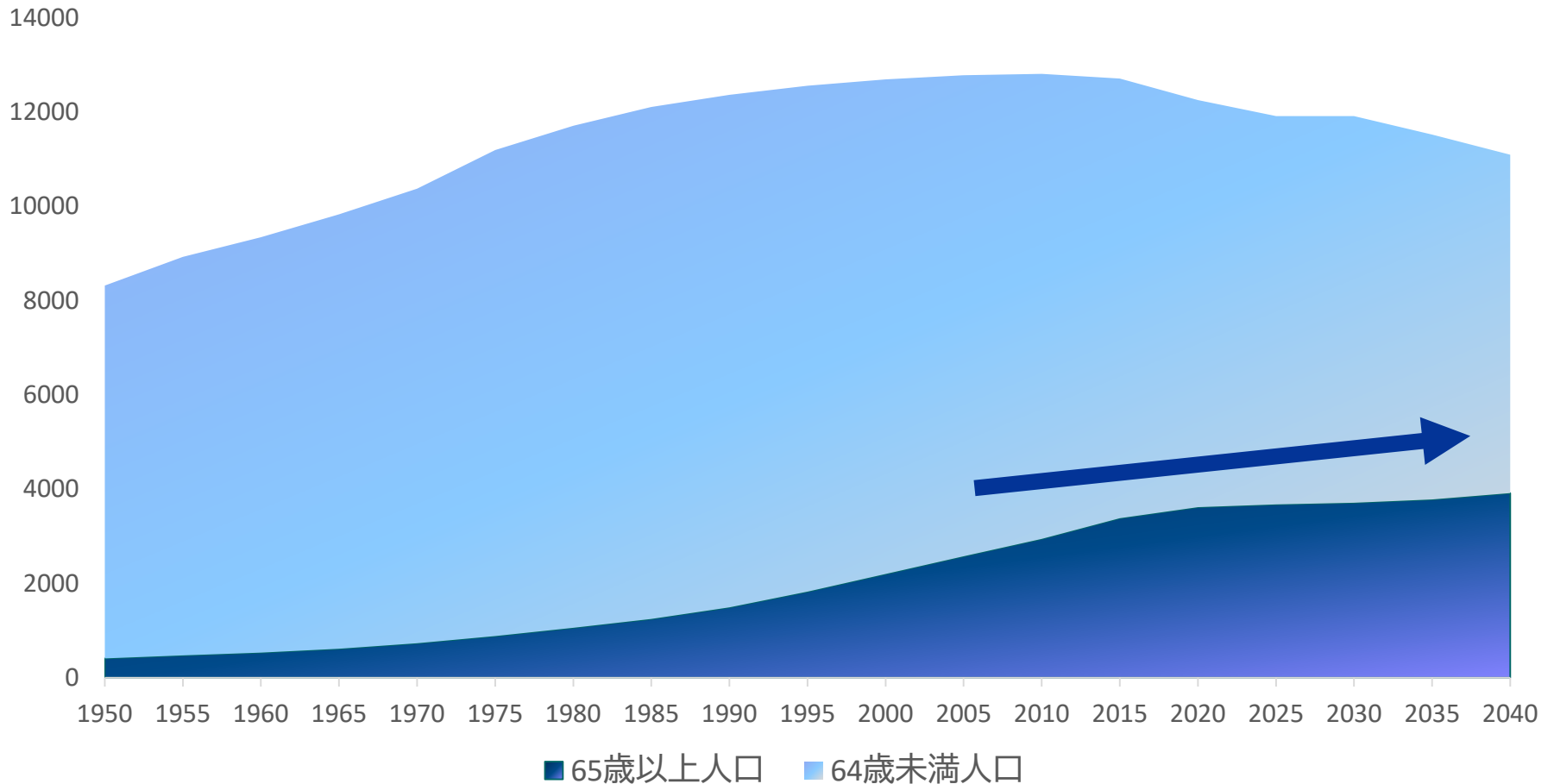


日本の医薬品市場における社会インフラ
国内の医薬品供給数量のうち約8%のシェア



外 部 環 境

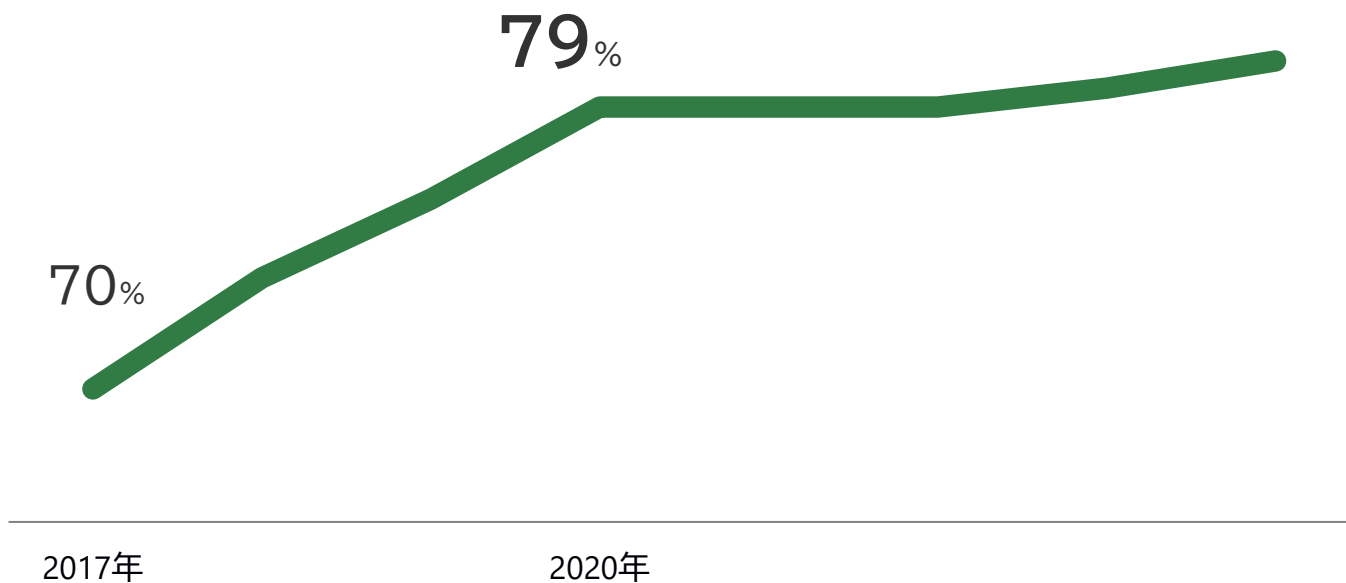
日本の総人口は減少するが65歳以上人口は今後も増加 国内の人口推移



出典：総務省「統計からみた我が国の高齢者(65歳以上)」をもとに沢井製薬作成

2017年以降3年間でジェネリック医薬品の数量シェアは80%近くまで上昇
今後は成長鈍化を見込むものの一定程度の需要拡大を予想

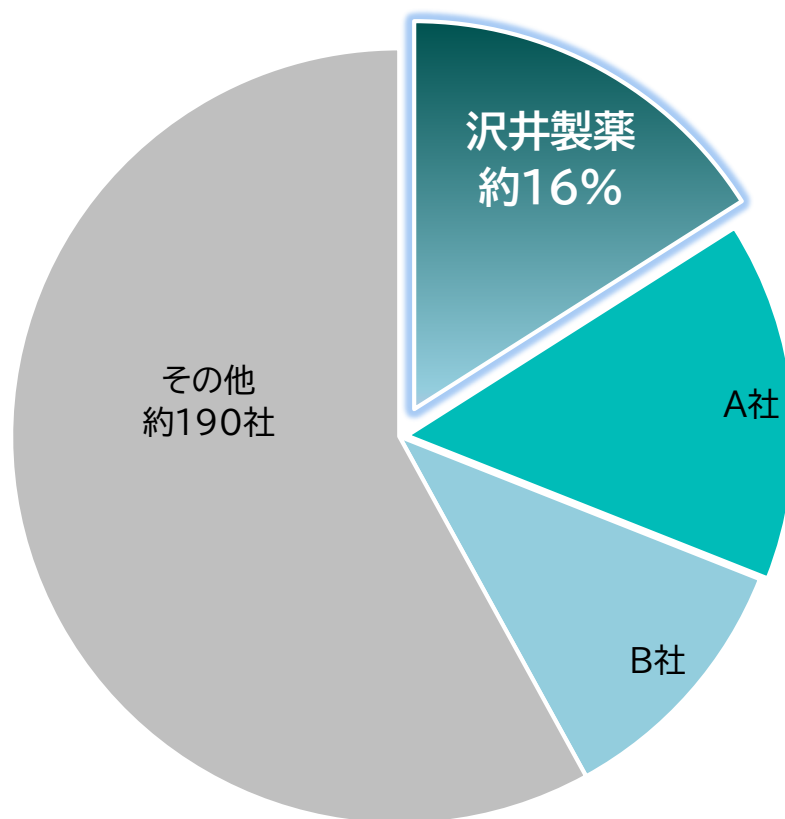
国内ジェネリック医薬品の数量シェア推移



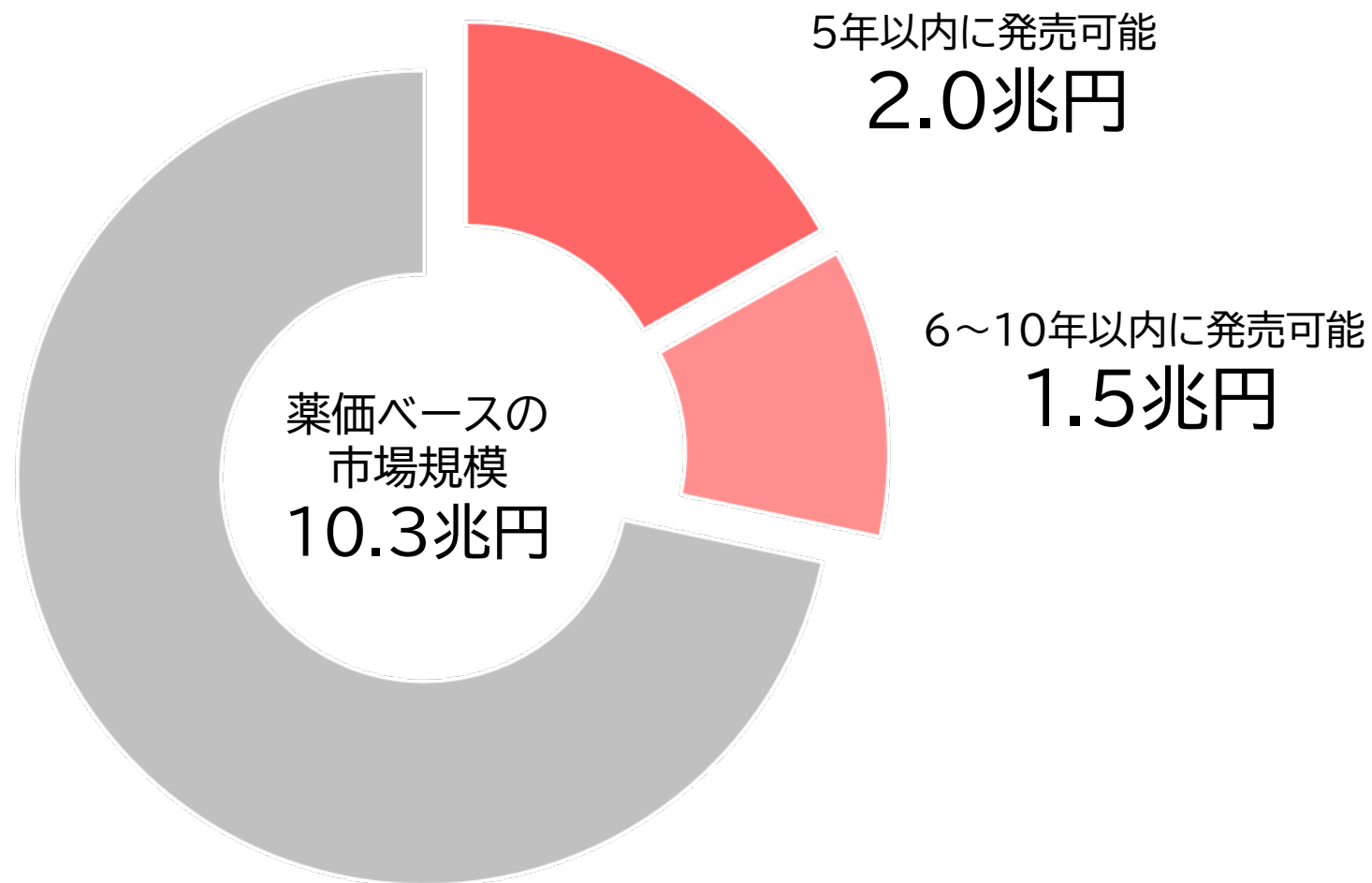
*数量シェアは当社推計値

薬価下落等業界全体の収益性悪化の可能性
190社程度あるジェネリック医薬品業界は今後さらなる再編と淘汰が進むと予想

現在のマーケットシェア



*シェアは当社推計値



Copyright © 2021 IQVIA.
JPM 2021年3月MATをもとに沢井製薬分析（無断転載禁止）

サワイの特徴・強み

- ・ 特許調査・分析力、製剤開発力
- ・ 800品目の品揃え
- ・ 安定供給力
- ・ 強固な財務基盤

新製品の一番手での発売により高いシェアを獲得

開発品目候補の特許※を調査・分析

※ 医薬品の特許には以下の特許がある
物質特許 用途特許 結晶形特許
製法特許 用法用量特許 製剤特許

特許の回避あるいは無効化を検討
他社に先駆けての販売を目指す

できるだけ早くジェネリック医薬品を世に出すことができれば、
他社との差別化が可能、また、医療費削減にも寄与
サワイでは、毎年単独発売品目の発売を実現

過去のケース

- ◆ 先発品の用途特許について、特許無効審判を請求、無効審決となったことから先行発売
- ◆ 特許を回避して製剤化を実現

患者さんや医療関係者の皆さんの声を生かし、より良いお薬を作っています

原薬選び

- ◆ 厳しい規格をクリアする良質なものだけを選定
- ◆ サワイでは、厚生労働省が定めるものより厳しい自主基準に適合した原薬を使用
- ◆ 高い品質を守るため、原薬の段階からその物性(性質や状態)なども徹底的に分析し、厳選



製剤化研究

- ◆ サワイジェネリックの研究開発のポイント
 - ・タイムリーでスピーディーな開発
 - ・新薬と同じ有効成分・同等の効き目で、さらにより良い品質の医薬品を作ること



最新の技術で様々な工夫をしています



お薬を飲みやすくする工夫



コーティングで
苦味を軽減



飲みやすい
大きさ、形に

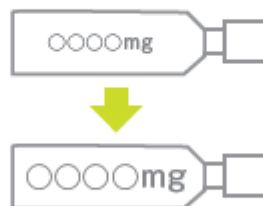


水なしでも飲める
お薬に

お薬を扱いやすくする工夫



お薬の名前を
表示



表示を大きく



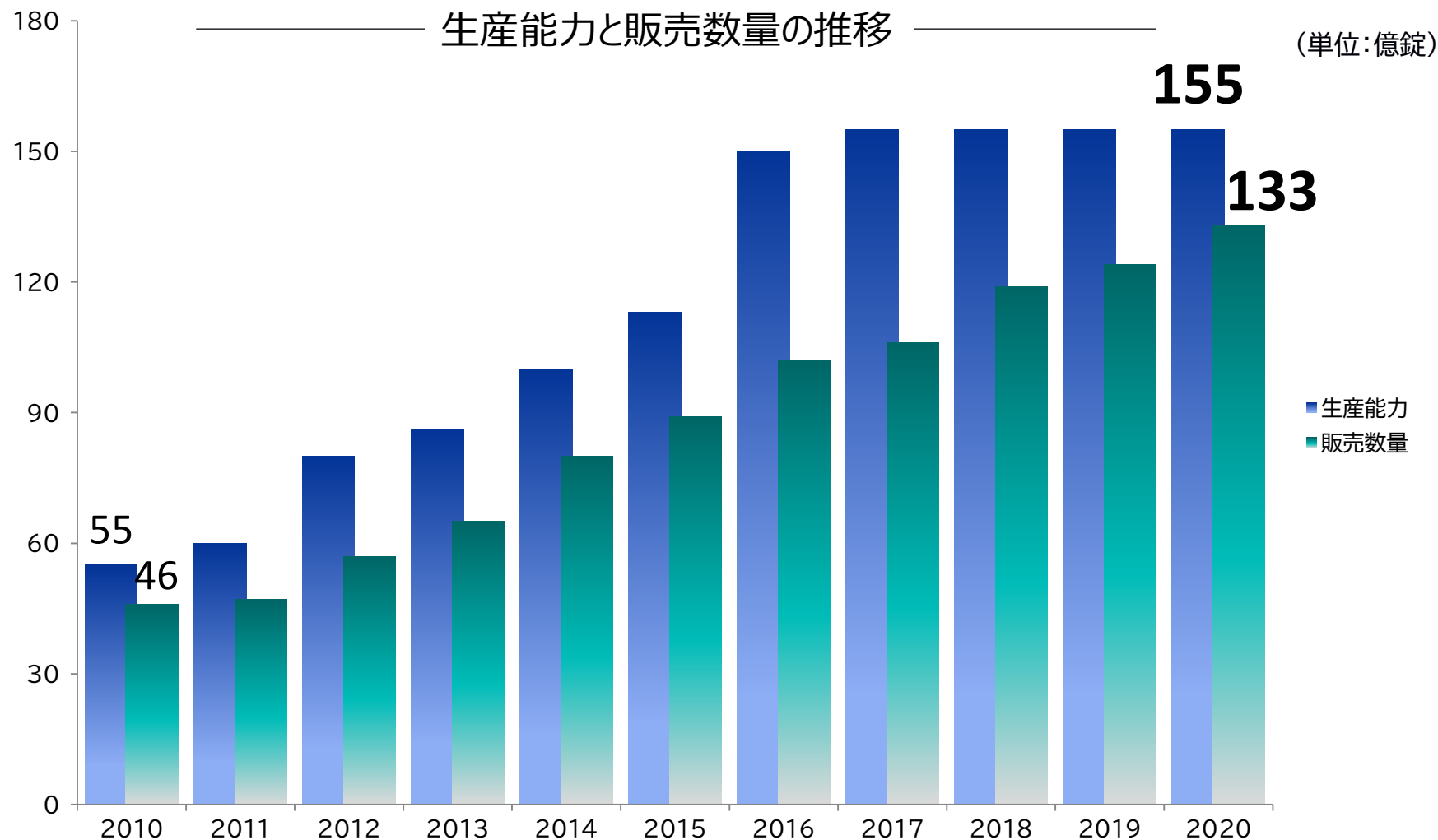
お薬を
取り出しやすく

当社製品

約800品目の製品ラインナップ
生活習慣病用剤から抗がん剤まで、幅広い疾患に対応



業界随一の生産能力、販売数量を誇る



安定供給 全国6工場体制を確立



九州工場 (福岡県飯塚市)
敷地面積70,351㎡
生産能力22億錠
就業人数 約380名



三田工場 (兵庫県三田市)
敷地面積14,686㎡
生産能力48億錠
就業人数 約240名



三田西工場 (兵庫県三田市)
敷地面積23,136㎡
就業人数 約130名
※包装のみを実施



鹿島工場 (茨城県神栖市)
敷地面積146,200㎡
生産能力30億錠
就業人数 約320名



第二九州工場 (福岡県飯塚市)
敷地面積60,395㎡
生産能力20億錠 / 就業人数 約340名



関東工場 (千葉県茂原市)
敷地面積135,857㎡
生産能力35億錠
就業人数 約520名

2030年のVision

Sawai Group Vision 2030

創りたい世界像

より多くの人々が身近にヘルスケアサービスを受けられ、社会の中で安心して生き生きと暮らせる世界

+

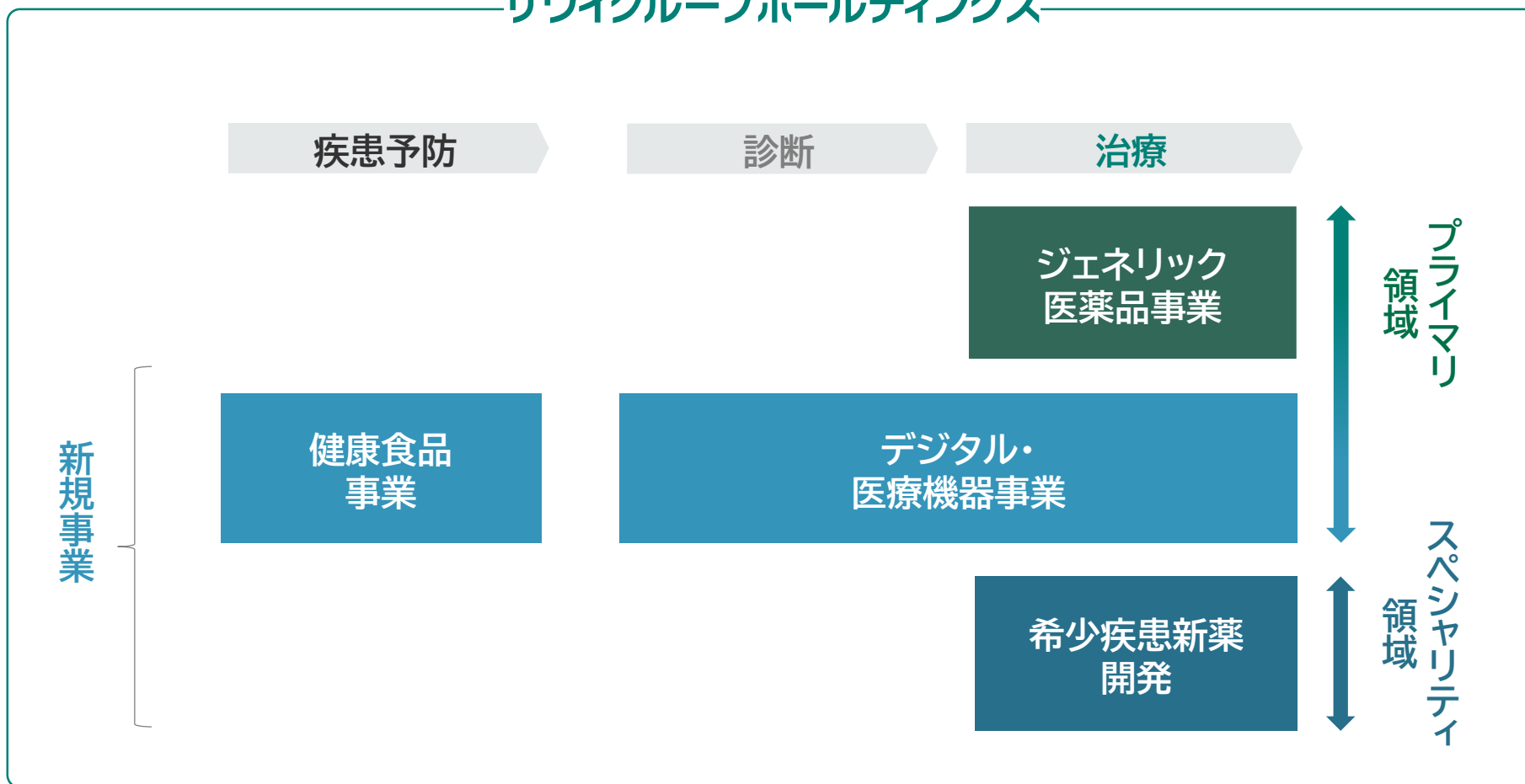
ありたい姿

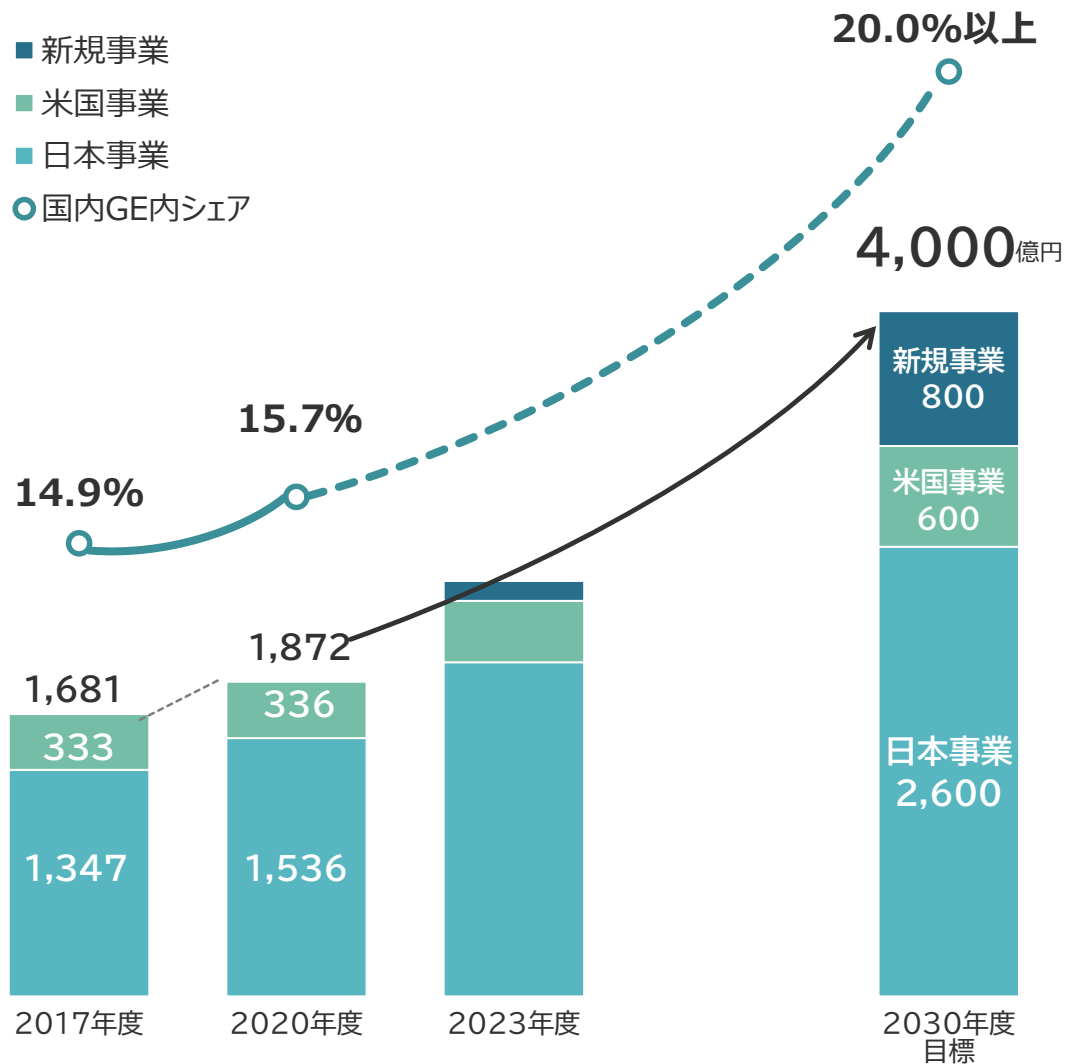
個々のニーズに応じた、科学的根拠に基づく製品・サービスを複合的に提供することで、人々の健康に貢献し続ける存在感のある会社

ジェネリック医薬品事業を中核に新規事業も育成

プライマリ領域において、予防から治療まで幅広い範囲で、薬剤治療に限らない選択肢を提供
また、これまでにない治療機会を提供すべく、希少疾患領域の新薬開発事業にも参入

サワイグループホールディングス





(円/\$ = 100)

目標及び前提数値

		現在 2020年度	「Vision 2030」 2030年度
日本事業	売上収益	1,536億円	2,600億円
	販売数量	133億錠	200億錠
	販売数シェア	15.7%	20.0%以上
	生産能力	155億錠	230億錠以上
新規事業	売上収益	-	800億円
米国事業	売上収益	336億円	600億円
売上収益合計		1,872億円	4,000億円
ROE		5.8%	10%以上

中期経営計画 「START 2024」

ジェネリック医薬品事業



新規事業への進出

① 国内GE市場におけるシェア拡大

- 新製品の売上増加
- 安定供給力の強化

② 米国事業における
将来の成長に向けた事業投資

③ 新たな成長分野の開拓

- デジタル・医療機器事業
- オーフアン医薬品事業(ALS等)
- 健康食品事業

①国内GE市場シェア拡大:新製品の売上増加

3年間で85品目以上の新製品を発売予定
今後も当社の強みである知財戦略により同業他社を凌駕し、
国内ジェネリック医薬品事業全体の収益拡大を図る

新製品発売計画

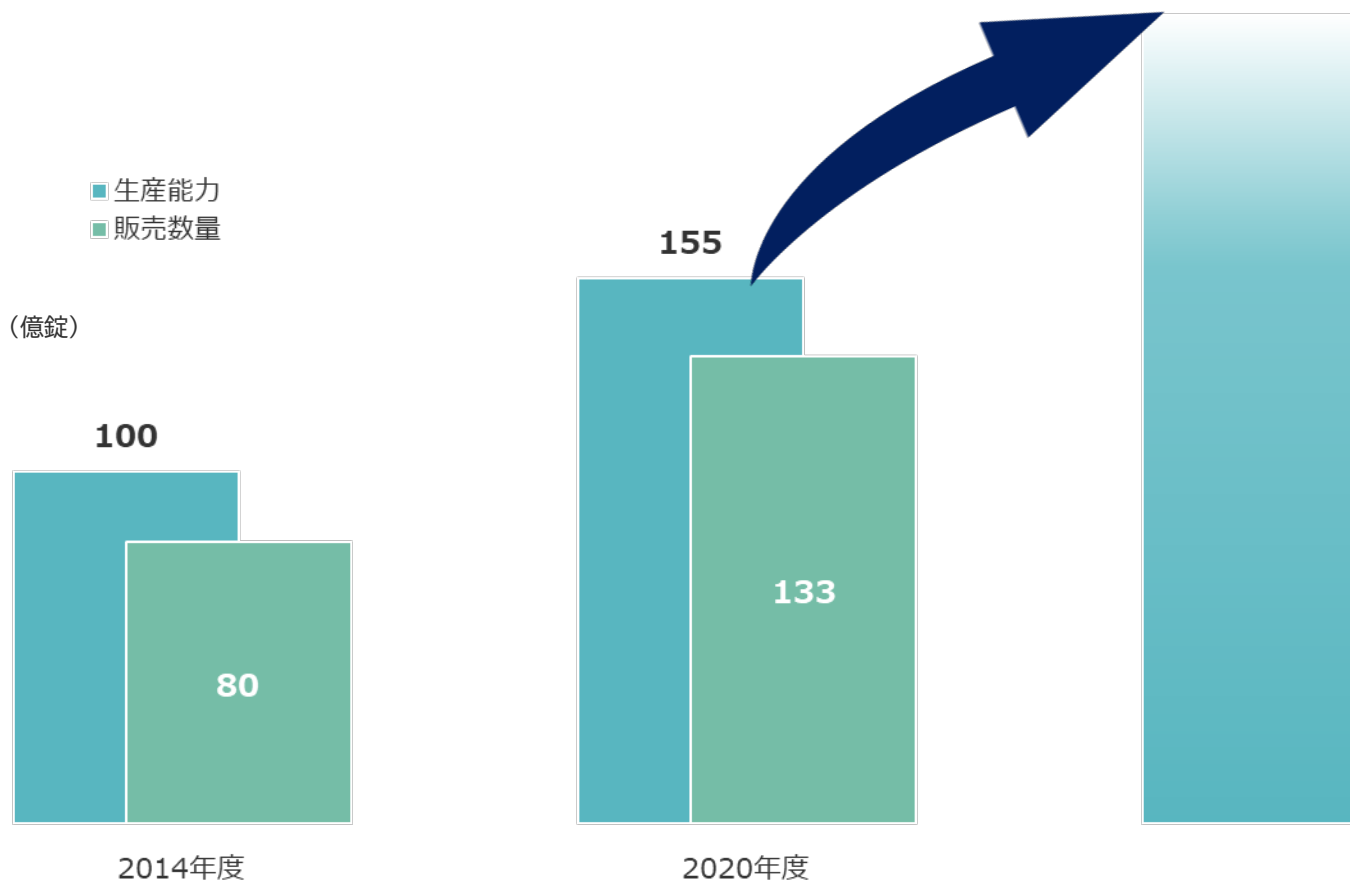
	2021年度	2022年度	2023年度
製品数	32	27	26
先発市場（億円）	2,507	2,880	2,744

上記以外にも単独発売品目の
発売を計画

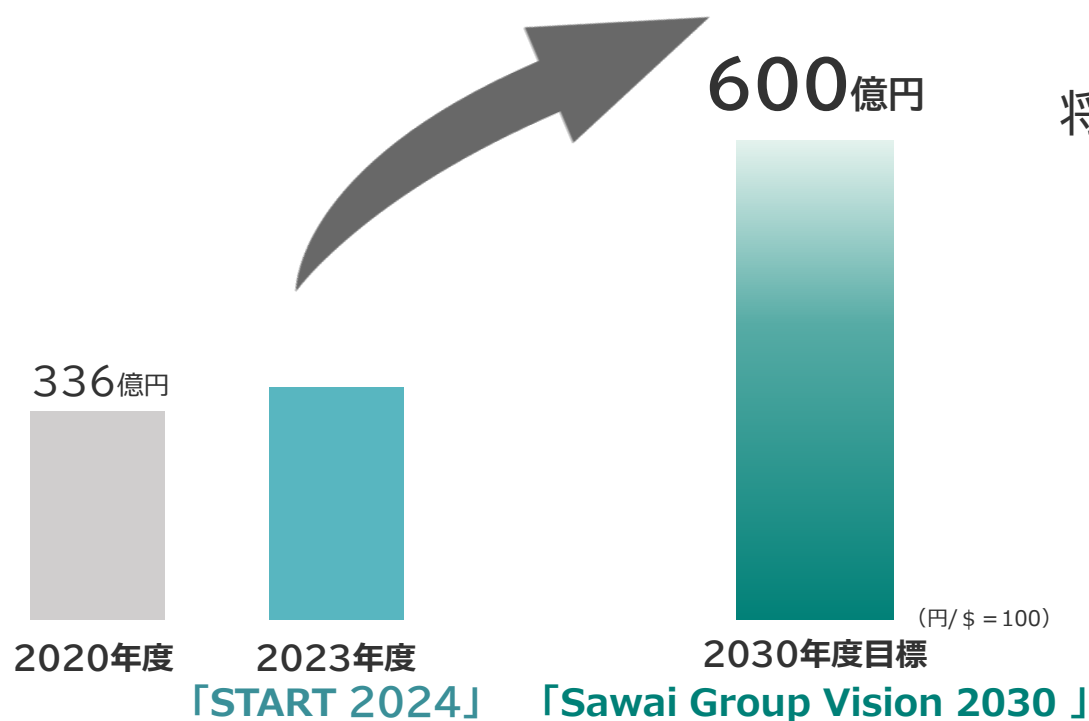
業界再編・集約化を見据え、
自社工場建設、他社工場買収、高品質の生産委託先の確保等あらゆる手段を講じ、
さらなる供給能力向上を目指す

業界随一の生産能力、販売数量

200億錠以上の
自社生産体制確立を目指す



今後の収益イメージ



2023年度までの3年間は
将来の収益性向上のための設備面、
研究開発等の先行投資を予定



2024年以降の成長を目指す

新薬開発(希少疾病用医薬品)、デジタル・医療機器など、新たな事業に進出

新薬事業

- ◆ ALS治療薬の開発
筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療薬について、ニュージェン・ファーマ社と共同開発

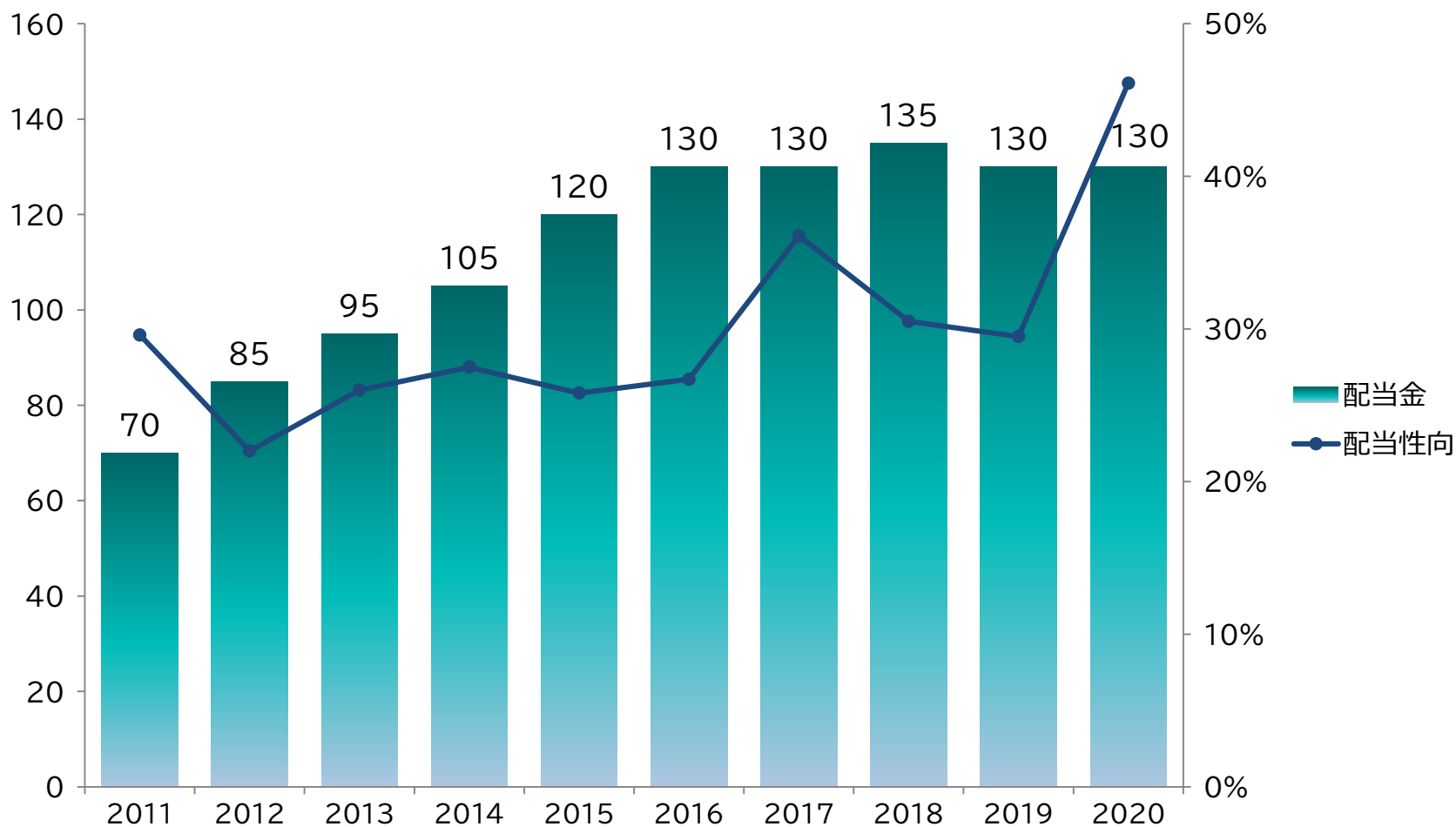
デジタル・ 医療機器事業

- ◆ デジタルヘルスケア領域での事業展開
不眠症治療用アプリをはじめとする医療用アプリの開発等の提供・開発に取り組んでいるサスメド社との資本業務提携
- ◆ 片頭痛・うつ病向けデジタル医療機器の日本における独占開発販売契約締結
ニューロモデュレーションを使用したデジタル治療を手がけているニューロリーフ社とデジタル医療機器の日本での独占開発販売契約
- ◆ PHR事業協業開始
オンライン診療の拡大、普及とともに重要となるPHR(パーソナルヘルスレコード)事業について、本年5月より株式会社インテグリティ・ヘルスケアと協業を開始
インテグリティ・ヘルスケアがOEM提供するPHR管理システムを、
沢井製薬ブランドとして提供

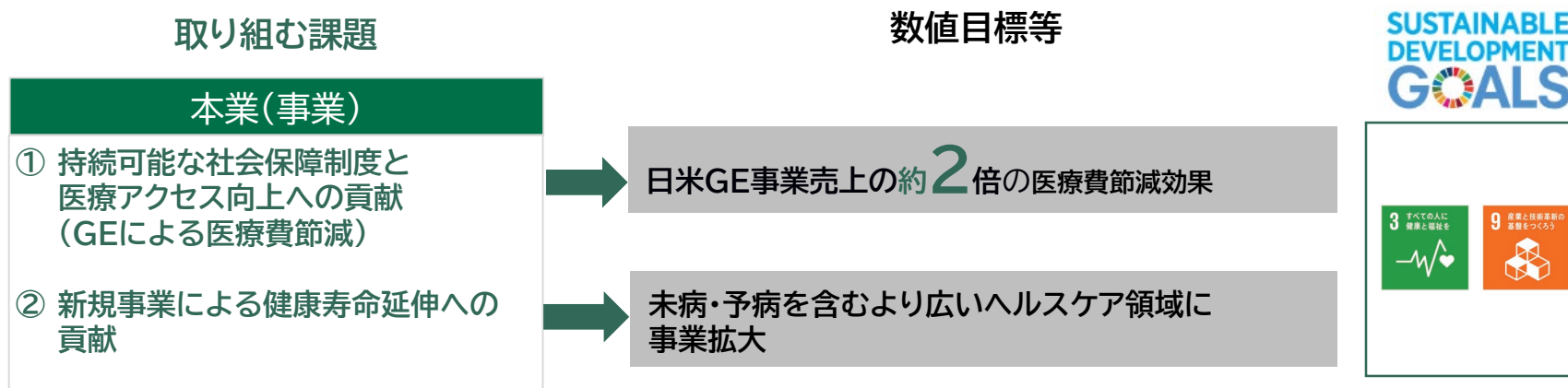
健康食品事業

- ◆ 参入検討中
健康寿命の延伸(ロコモ・フレイル対策、認知症、生活習慣病予防等)をサポートする健康食品事業への参入を検討中

配当性向30%を目途とした、安定配当を実施



※2013年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
これに伴い、2013年度の期首に株式分割を行ったと仮定。2012年度はその分割を考慮し、再計算した金額を掲載



中核のジェネリック医薬品事業においては、

医薬品の社会インフラ企業として、なくてはならない企業となり、

社会的責任を果たしていきます。

また、社会と共に持続的に発展するヘルスケア企業グループとして、ひとりでも多くの人々の健康に貢献できるように努めてまいります。

ご清聴ありがとうございました

なによりも健やかな暮らしのために

サワイグループ
ホールディングス株式会社